

叛旗

共産主義者同盟

発行所/著 真社
編集人 中代真理 発行人 川崎文久
東京都新宿区百人町1-11-1
312 丸の内ビル内 郵便番号 100
電話 03(522) 0114 (夜間)
03(522) 0115 (夜間)
編集 編集委員(長) 阿部西吾
社長 電話 06(812) 8263

反帝戦線全国大会

8月23・24日

〈詳細連絡 03-362-0149〉

若疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

左翼同伴知識人の退廃とその末路

世界認識の構成的水準とは何か

〈哲学者〉たちの 葬列の行進

「哲学者」の死。それは、単に肉体の消滅を意味するのではない。それは、その思想の没落と、その存在の消滅を意味する。戦後、日本に於ける「哲学者」の死は、一種の現象として、我々の目に映った。それは、戦前とは異なる、一種の死であった。戦前の「哲学者」は、国家社会の理想を追求し、その理想を死にまで貫き通した。戦後の「哲学者」は、国家社会の理想を放棄し、個人の私利私欲を追求し、その理想を死にまで貫き通さなかった。戦後の「哲学者」の死は、一種の現象として、我々の目に映った。それは、戦前とは異なる、一種の死であった。戦前の「哲学者」は、国家社会の理想を追求し、その理想を死にまで貫き通した。戦後の「哲学者」は、国家社会の理想を放棄し、個人の私利私欲を追求し、その理想を死にまで貫き通さなかった。

戦後の「哲学者」の死は、一種の現象として、我々の目に映った。それは、戦前とは異なる、一種の死であった。戦前の「哲学者」は、国家社会の理想を追求し、その理想を死にまで貫き通した。戦後の「哲学者」は、国家社会の理想を放棄し、個人の私利私欲を追求し、その理想を死にまで貫き通さなかった。戦後の「哲学者」の死は、一種の現象として、我々の目に映った。それは、戦前とは異なる、一種の死であった。戦前の「哲学者」は、国家社会の理想を追求し、その理想を死にまで貫き通した。戦後の「哲学者」は、国家社会の理想を放棄し、個人の私利私欲を追求し、その理想を死にまで貫き通さなかった。

戦後の「哲学者」の死は、一種の現象として、我々の目に映った。それは、戦前とは異なる、一種の死であった。戦前の「哲学者」は、国家社会の理想を追求し、その理想を死にまで貫き通した。戦後の「哲学者」は、国家社会の理想を放棄し、個人の私利私欲を追求し、その理想を死にまで貫き通さなかった。戦後の「哲学者」の死は、一種の現象として、我々の目に映った。それは、戦前とは異なる、一種の死であった。戦前の「哲学者」は、国家社会の理想を追求し、その理想を死にまで貫き通した。戦後の「哲学者」は、国家社会の理想を放棄し、個人の私利私欲を追求し、その理想を死にまで貫き通さなかった。

非行としての内ゲバ

「内ゲバ」とは、戦後の日本に於ける一種の現象として、我々の目に映った。それは、戦前とは異なる、一種の現象であった。戦前の「内ゲバ」は、国家社会の理想を追求し、その理想を死にまで貫き通した。戦後の「内ゲバ」は、国家社会の理想を放棄し、個人の私利私欲を追求し、その理想を死にまで貫き通さなかった。戦後の「内ゲバ」の死は、一種の現象として、我々の目に映った。それは、戦前とは異なる、一種の死であった。戦前の「内ゲバ」は、国家社会の理想を追求し、その理想を死にまで貫き通した。戦後の「内ゲバ」は、国家社会の理想を放棄し、個人の私利私欲を追求し、その理想を死にまで貫き通さなかった。

反帝戦線全国大会へ結集せよ!

反帝戦線全国大会へ結集せよ! 我々共産主義者同盟は、この大会に積極的に参加し、反帝戦線の発展に貢献することを呼びかけます。大会は、8月23・24日、東京都新宿区百人町1-11-1、丸の内ビル内で開催されます。詳細は、電話 03-362-0149 までお問い合わせください。

戦争とインフレを死滅に追い込む

状況の内在性を透視せよ！

I 恐慌と戦争の 不可避性とは何か

恐慌と戦争の不可避性とは何か。これは、現代の人類が直面している最も深刻な問題の一つである。この問題を理解するためには、まずその背景となる経済的・社会的状況を透視する必要がある。インフレの激化は、物価の暴落を招き、社会の不安定さを増大させている。同時に、戦争の脅威は、人々の生命と財産を脅かしている。この二つの危機は、互いに連鎖し、悪循環を生み出している。この状況を打破するためには、政府と国民の両方が協力して、適切な政策を講じる必要がある。恐慌と戦争の不可避性を打破し、平和と繁栄を築くことが、我々の最大の使命である。

過剰生産の不可避性

過剰生産の不可避性。これは、現代の生産方式の根本的な欠陥である。資本主義の発展に伴って、生産力は飛躍的に向上したが、同時に需要は追いついていない。この結果、大量の生産物が市場に溢れ出し、価格が暴落し、生産者が倒産を繰り返している。この問題を解決するためには、生産と消費のバランスを回復させる必要がある。政府は生産活動を抑制し、消費を促進する政策を講じるべきである。同時に、消費者も合理的な消費を心がける必要がある。過剰生産の不可避性を打破し、持続可能な生産方式を確立することが、我々の課題である。

階級概念の変容

階級概念の変容。社会の階級構造は、時代とともに変容を遂げている。かつては、血縁や財産に基づいた固定された階級が存在したが、現代では、教育や能力に基づいた流動的な階級が形成されている。この変容は、社会の流動性を高め、個人の向上を促している。しかし、同時に、階級間の格差が拡大しているという問題も生じている。この問題を解決するためには、教育の機会均等を確保し、社会政策を通じて格差を縮小させる必要がある。階級概念の変容を促進し、公平な社会を築くことが、我々の使命である。

インフレとは何か

インフレとは何か。これは、物価の持続的な上昇を指す。インフレの原因は多岐にわたるが、主に需要超過やコスト増によるものである。インフレは、国民の購買力を低下させ、社会の安定を脅かしている。これを抑制するためには、中央銀行が適切な金融政策を講じる必要がある。同時に、政府も財政政策を通じてインフレを抑制する必要がある。インフレの発生を未然に防ぎ、物価の安定を確保することが、我々の課題である。

インフレ問題の 情况的根拠

インフレ問題の情况的根拠。現代のインフレ問題は、世界的な経済危機の背景に発生している。需要の急激な減少にもかかわらず、生産は依然として高水準を維持している。この結果、在庫が積み上がり、価格が暴落している。同時に、コスト増によるインフレも発生している。この状況を打破するためには、政府と中央銀行が協力して、適切な政策を講じる必要がある。インフレ問題の情况的根拠を把握し、適切な対応を講じる必要がある。

深層海流

深層海流。これは、社会の根本的な問題を指す。表面的な現象だけでなく、その背後にある社会的・経済的構造を理解することが重要である。深層海流を把握するためには、社会の構造を徹底的に分析する必要がある。政府と国民の両方が協力して、社会の根本的な問題を解決する必要がある。深層海流を把握し、持続可能な社会を築くことが、我々の使命である。